

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
上山市	久保手地区	平成26年3月14日	令和3年3月26日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	75.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	54.2ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	17.9ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	7.1ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.5ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	23.3ha
<ul style="list-style-type: none"> ・水田が粘土質で水はけが悪いなど条件が悪いため利用集積・拡大が進んでおらず、個別に貸主の意向により作業委託を受けてきた。 ・後継者が少ない。 ・ぶどう生産を中心に新規就農者が増加している。 ・個人の対応では限界があるため、組織化・集団化の必要性を検討してきたが、その旗揚げ役やまとめ役がいらない。 ・人・農地プランにより後継者を含めた大規模農家等の作業効率向上・経営基盤確立により、専門的経営規模拡大を図りたい農家及び後継者不足により経営転換・離農を余儀なくされている高齢化農家との意向を踏まえながら、地区農業ビジョンを双方合意により形成することが求められており、多くの農家が望んでいる。 ・有害鳥獣被害(イノシシ、カラス、ムクドリ等)が増加している。 	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・農地の条件が悪く集約が進んでいない状況で、どのように集約を図っていくか。 ・後継者や新規就農者をどのように育成していくか。 ・地域における組織化・集団化をどのように進めていくか。 ・有害鳥獣被害に対して、どのような対策を講じていくか。

3 対象地区内における中心経営体への農地集約化に関する方針(必要な取組に関する方針)

<p>(1)組織化・集団化の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の組織化・集団化について、専門家の助言を受けながら検討を進めていく。具体的には、先進事例の研究を進めながら、まとめ役やそば組合等既存組織を中心にした組織体制づくり、園芸作物を中心にした取組や育苗センターの設置・運営等を検討し、担い手に少しずつ農地集約を進めていく。 <p>(2)担い手の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件の良い農地の借地意向等について、地区内で情報共有を図りながら、後継者や新規就農者を支援・育成していく。 <p>(3)有害鳥獣被害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地区(山元、東等)での取組を参考にして、隣接地区(大石蔭地区等)と連携しながら、地域ぐるみの取組を検討していく。
--